

### 社会奉仕事業報告

社会奉仕委員長 檜畑 友洋

2月26日、防災に関する社会奉仕事業で、こぼと学園に防災用倉庫を寄贈しました。本年度は山本進三会長の活動テーマに沿って防災事業に取り組んでいますが、その流れの中で、和歌山大学の災害ボランティアサークルFORWARDの活動を支援すると同時に、彼らの調査活動によって、地域の子どものために何かできることがないかというのを模索しました。



当初は市内の小学校を対象とする考えもありましたが、FORWARDの皆さんと一緒に調べていくうちに、児童養護施設では予算不足により十分な備えができていない可能性があることが分かってきました。

そこで、当クラブが古くから支援している「こぼと学園」からもヒアリングを行ったところ、防災訓練など積極的に行っている反面、食料等の備蓄は、十分な収納場所がないために一か所に保管されていないことが分かりました。結果、誰にでも分かりやすく保管できる防災用倉庫を寄贈するという運びになりました。

今回の寄贈については、ハードとしての倉庫だけでなく、FORWARDが岩手県の児童養護施設からヒアリングした災害時の対応レポートなど、経験や知識というソフトも一緒に贈ることができました。この事業が、災害時だけでなく、防災意識の向上にもつながることを期待しています。



(出席者 山本会長、吉田幹事、檜畑社会奉仕委員長)

### ニコニコ箱

#### ありがとうございました

野井 晋さん 私達高齢者の為に夜間例会を開いて下さったのに、欠例致し申し訳ございません。(足の親ゆび深づめ切りし、バイクンにおかされ七転パットウしました。)

岸裏 廣澄さん 内畑さん、亀田さん、I.D.M.ご苦労様でした。

山本 進三さん 和歌山大学FORWARDの皆さま、本日はよろしくお祈りします。

吉田 篤生さん 「FORWARD」のみなさん、本日は卓話宜しくお祈りします。

こぼと学園の子どもも喜ぶことと思います。

亀田 直紀さん 妻にきれいなお花をありがとう。

FORWARDのみなさんがんばって。

阪神タイガース応援団一同

〔お誕生日お祝い〕 岩橋 五郎さん

本日の累計 27,000円(計6名 7件)〔お誕生日お祝い 395,000円 皆出席表彰 35,000円 その他 1,153,200円 累計額 1,583,200円〕

本日の例会 3月5日(木) 次回の例会 3月12日(木)

■クラブフォーラム「識字率向上月間に因んで」  
国際ロータリー第2640地区  
社会奉仕委員会 笹島 良雄 委員長

■卓話「職場のメンタルヘルスと傾聴」  
りんどう司法書士事務所  
司法書士・産業カウンセラー 戸井 洋木さん

■ピアノ演奏 中井 利枝さん  
WHEN YOU'RE SMILING(L.Shay)  
WILLOW WEEP FOR ME(A.Ronell)

■前回の例会 2月26日(木)  
■「東北等の児童養護施設における防災事例の調査・報告」  
和歌山大学ボランティアサークル「FORWARD」の皆さん

■ロータリーソング 内畑 瑛造 ソング委員長  
「我らの生業」

出席報告 会員数 41名(内出席規定適用免除会員13名) 2月26日(本 日) 24名/34名 70.6% 皆さん、出席してください。  
黒田 純一 出席委員 2月12日(メーキャップ後) 31名/35名 88.6%



# 良くしよう! ~ improve our Rotary! ~ 今できることを精一杯

2014~2015年度  
和歌山東ロータリーのテーマ

2015年3月5日(木)

週報/VOL.56 No.32  
(通巻2672)

「ロータリーに輝きを」LIGHT UP ROTARY 2014~2015年度  
国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ URL: http://www.werc.jp E-mail: info@werc.jp

### 会長報告

山本 進三 会長



皆さんこんにちは。  
先週の創立記念・ご長寿お祝い例会、ありがとうございました。  
2月は重要な事業が多くて、シンガポールRC訪問から始まり、創立記念例会、そして本日、防災・減災の社会奉仕事業があり、スケジュールが目白押しです。  
今日行われる防災・減災の社会奉仕事業は年度初めに私が所信で述べた肝いりの事業で、今までの事業とは視点の違う新しい取り組みとして今後も継続できればと思っています。

もう過ぎてしまいましたが、2月と言えばバレンタインデーです。バレンタインデーと言えばチョコレートですが、チョコレートの原料であるカカオが今、世界的に不足しているとのことです。

チョコレート製造メーカーの世界大手、米国のマース社によると、2020年にはカカオの生産量が消費量より100万トンも足りなくなるだろうと予測しています。

生産が不足すれば増やせば良いのではと簡単に思いがちですが、問題はカカオの生産が非常に難しいことにあるようです。カカオの苗は、植えてから実をつけるようになるまでに2~3年はかかります。さらに品質のよいカカオの実が収穫できるようになるまでに6~7年は必要と言われており、しかも、プランテーションのような人工的な環境では、花から実になるのは全体の1~3%程度しかなく、非常にわずかな量しか収穫できないということです。

さらにカカオは限られた地域でしか育ちません。赤道から南北緯20度以内の範囲で、年間平均気温が27度で16度を下回ることなく、年間降水量が1500~2500ミリメートルほどある高温多湿な環境でないとダメなのだそう。

桃栗3年・柿8年といいますが、これでは増産は極めて難しいようですね。  
さらに、現在カカオの約70%は西アフリカで生産されていますが、かつて主要な生産地であったブラジルやマレーシアは1980年代、病害で大きな被害を受け、生産が急激に減ってしまった経緯があります。

今後、アフリカで病害が広がる可能性は決して少ない訳ではなく、常に生産が極端に減少するリスクを抱えながら生産している状態であるようです。

もしかすると、近い将来、チョコレートは高級なお菓子になってしまうかもしれません。そうすると、バレンタインデーのチョコレートは簡単にももらえるものではなくなってしまうかもしれません。

義理チョコをもらえるのもここ数年かもしれません。皆さん、ホワイトデーには充分なお返しをしておきましょう。

今日は和歌山大学のボランティアサークル、「FORWARD」さんに防災・減災事業についての報告をいただきます。今期の新事業の内容をぜひご確認いただければと思います。

本日もよろしくお祈り致します。

### 幹事報告

吉田 篤生 幹事



・和歌山県健康推進課より、平成26年度人権特別番組「シリーズ人権」録画DVDをお礼状とともにお送りいただいております。この中には平成26年12月1日にテレビ和歌山にて放送されました「世界エイズデー2014 in 和歌山」がはいております。  
ご覧になりたい方は事務局まで申し出ください。

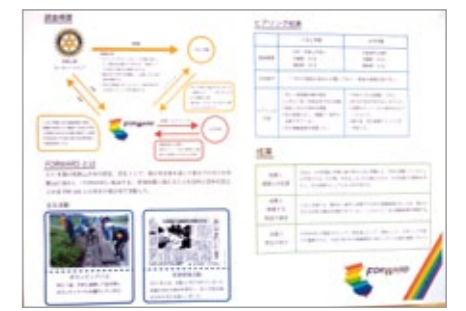
### 卓話

#### 「東北等の児童養護施設における防災事例の調査・報告」

和歌山大学ボランティアサークル「FORWARD」(和歌山大学大学院観光学研究所) 鹿嶋 良太さん



11月25日に実施したこぼと学園さんへのヒアリング調査で、被災経験がなくイメージがし辛いために具体的な防災対策が練れていない点や、備蓄がバラバラの場所に保存してあり、何がどこにあるかすぐに把握できない点などが課題として挙げられました。ヒアリングの結果と、こぼと学園の森本園長の希望から、備蓄用の防災倉庫を寄贈することを提案しました。そこで、東日本大震災時に同様に防災倉庫を寄附されていた、岩手県大船渡市の大洋学園さんに、1月24日にヒアリング調査を行いました。ヒアリング調査では、3月11日当時の状況から、防災倉庫の有効な活用法の他、備蓄しておくこと便利だったもの等のお話も聞くことができました。そして、災害時に栄養士がいなくても衛生管理や炊き出しを行うことが出来るマニュアルを頂くことができ、非常に大きな成果が得られました。今回の防災倉庫の寄贈と、マニュアルの共有を以て、ハード、ソフトの両面からこぼと学園さんの防災計画、防災啓もうのサポートを行うことができるでしょう。また、今回の学びをFORWARD内でも共有し、防災意識の高い若者を中心に広く防災啓もう活動を行っていく予定です。



1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか